

2006年7月21日

## 株式の電子化(ペーパーレス化)に対応した タンス株券無料集荷「株券ゆうパック」サービスの導入と 株券入庫キャンペーン実施のお知らせ

楽天グループのインターネット・トレーディング専門の証券会社、楽天証券株式会社(代表取締役社長：國重淳史、本社：東京都港区)は、2009年6月までに実施が予定されている「株券の電子化」に対応して、本年7月24日(月)より「株券ゆうパック」サービスを導入いたします。

本サービスは、お客様がご自宅等で保管されている株券(いわゆる「タンス株券」)を当社の証券口座に入庫いただく際、お手持ちの株券を「書留扱いのゆうパック」にてお送りいただくもので、全国の郵便局員が、お客様のご指定する日時・場所に無料で集荷に伺います。これまでは、郵便局の窓口で書留郵便の手続きをおこなっていただく必要がありましたが、今後は日本全国をカバーする郵便局のネットワークを活用して株券の受取りをおこなうことで、お客様の利便性が向上いたします。

また、本サービス導入によるタンス株券の入庫を促進させるため、「株券入庫 ポイントプレゼントキャンペーン」を実施いたします。7月24日(月)から10月31日(火)までのキャンペーン期間中、当社にタンス株券の入庫もしくは他社からの移管をおこなうと、もれなく「楽天証券ポイント」1,000ポイントをプレゼントいたします。楽天証券ポイントは楽天市場で使える「楽天スーパーポイント」に交換することができ、1,000円分のお買い物などにご利用いただくことができます。

今後さらなる市場の拡大が予想されるシニア世代においては、相続等で株券を保有されているケースが多く、当社では株券の電子化にともないタンス株券を証券会社に入庫されるお客様が急増すると見込んでおります。こうした駆け込み需要をいち早く取り込むことで、新規顧客の拡大を強力に推進してまいります。

### 株券の電子化について

2009年6月までの一定の日に上場会社の株券が一斉に電子化され、ご自宅や貸金庫等に自ら保管している、いわゆる「タンス株券」は電子化移行後、証券会社の口座に株券を移管しなければ、売却することができなくなります。

### 「株券ゆうパック」の概要

「株券ゆうパック」は、お客様がご自宅等で保管されている株券(いわゆる「タンス株券」)を当社の証券口座に入庫いただく際、全国の郵便局員が土・日・祝日を含めたお客様のご指定する日時・場所にお伺いし、お手持ちの株券を「書留扱いのゆうパック」にて無料で集荷をおこないます。当社から専用の返送用伝票や包材などを送付し、集荷の際も郵便局員がご自宅等に直接お伺いするためお客様の手間が軽減するとともに、高額な株券を持ち歩かなくて済み、もしもの事故に備えて損害保険契約が結ばれているため、株券の入庫にかかる安全性も向上します。

楽天証券は、1999年3月に設立された日本で最初のインターネット取引専門の証券会社です。楽天株式会社(96.7%)と三井住友銀行(3.3%)が株主となっています。